

25. 伏見町の街並み(青山ビル・伏見ビル)



- ◆所在地 中央区伏見町2丁目2番
- ◆登録番号 H22-25
- ◆登録年月日 平成22年7月23日
- ◆概要

伏見町には、青山ビルや伏見ビルといった戦前の建築物が当時と変わらない姿で今も存在している。青山ビルは大正10年(1921年)に洋館の邸宅として建てられ、ビル全体を覆う蔦が四季折々の姿を見せる。伏見ビルは大正12年(1923年)にホテルとして建てられ、円形の飾り窓などの外観が特徴的である。両ビルとも、国の登録有形文化財に指定されている。

28. 御堂筋



- ◆所在地 中央区北浜3丁目、4丁目
～難波5丁目
- ◆登録番号 H22-28
- ◆登録年月日 平成22年7月23日
- ◆概要

大阪の都心部を南北に貫くメインストリートであり、美しい景観を有する大阪のシンボルロードでもある。昭和12年(1937年)完成。沿道建物の高さは約31mまでに制限され、整然とした景観がつけられた。平成7年(1995年)には、御堂筋沿いの壁面の4m後退などを条件に、軒高50m、最大高さ60mまで緩和された。銀杏並木は大阪みどりの百選や大阪市指定文化財に指定されている。

26. 法善寺水かけ不動尊



- ◆所在地 中央区難波1丁目2番16号
- ◆登録番号 H22-26
- ◆登録年月日 平成22年7月23日
- ◆概要

法善寺の西向不動尊。苔に包まれてきれいな緑色になったお不動さんは「水かけ不動」として親しまれている。お供え物を持ち合わせていなかった参拝客が、思わず水をかけて手合わせたのが始まりだと伝えられている。

29. もと大阪市立博物館



- ◆所在地 中央区大阪城1番1号
- ◆登録番号 H22-29
- ◆登録年月日 平成22年7月23日
- ◆概要

昭和6年(1931年)に陸軍第4師団司令部の建物として竣工。終戦後は駐留軍施設として接収された。昭和23年(1948年)、大阪市警察本部として返還を受け、その後、府警本部となる。昭和35年(1960年)には博物館として一部開館し、2年後に全面開館した。平成13年(2001年)、大阪歴史博物館の開館に先立ち閉館した。

27. 三津寺



- ◆所在地 中央区心斎橋筋2丁目7番12号
- ◆登録番号 H22-27
- ◆登録年月日 平成22年7月23日
- ◆概要

奈良時代の難波宮遷都の際に、僧の行基が開いたと伝えられる。寺院の台所や住居部分である庫裡は、昭和8年(1933年)の御堂筋拡張工事のときに新築されたもの。文化5年(1808年)に建てられた木造の本堂は、戦災を無事免れ、庫裡ともども往時の姿をそのまま保っている。

30. ルポンドシエルビル(大林組旧本店ビル)



- ◆所在地 中央区北浜東6番9号
- ◆登録番号 H22-30
- ◆登録年月日 平成22年7月23日
- ◆概要

大正15年(1926年)大林組の四代目本店ビルとして竣工。平成19年(2007年)に、耐震補強を含む全館の改修工事が行われ、南向いにある大阪大林ビルに入居していたフレンチレストラン、大林組歴史館などが当ビルに移転した。ビル中央のアーチ部が印象的である。